

2014年度司書課程主催行事等報告

2014年度は、巻頭言、巻頭の特集で報告した陸前高田関連の活動が大きかった。改めて整理しておく、その概要は以下のとおりである。こうした活動については、本学の季刊広報誌『立教』の第231号（2014年12月発行）と第232号（2015年3月発行）で紹介された。

1. 展示会「上橋菜穂子さんの世界 ～人とその作品～」

主催	立教大学司書課程
場所と期間	池袋図書館：2014年7月1日（火曜日）～10月28日（火曜日） 新座図書館：2014年11月22日～2015年3月31日（一部ポスターのみの展示）

2. 上橋菜穂子氏講演会「～物語ること、生きること～」

主催	陸前高田市立図書館、立教大学東日本大震災復興支援本部共催 司書課程履修生は、広報のためのチラシとポスターの作成（2名）、講演会当日の受付等（3名）を担当した。
場所	陸前高田市竹駒コミュニティセンター（岩手県陸前高田市高田町字館の沖138）
日時	2014年10月5日（日曜日）10:30～12:00
対象	小・中・高校生、保護者、一般。入場無料

陸前高田関連以外には、5月19日（月曜日）、司書課程第二回OB/OG懇話会を開催した。講師は前回と同じく、2013年度文学部文学科文芸・思想専修卒業生の坪根史織さんをお願いした。18時半から約2時間、2号館1階会議室にて、教員の同席を今回は短くして、前回以上に自由に質問・相談をできる場となるようにした。前回よりも多くの学生、約10名が集まった。中には1年生もいて、その意識の高さに驚いたが、就職先の選択肢のひとつとして司書を考えるならば、今は特に正規職員としての就職は大変困難なこともあるので、いつ先輩に出会ってお話をうかがっても遅いということはないだろう。また、立教司書志望者の会メーリングリストで告知をしたことから、転職を考える卒業生の参加もあった。来年度もこの企画は実施しようと考えている。

このほか、国外の図書館での図書館実習の実現に向けて動きはじめたというようなことが課程内ではあった。2014年度秋学期には目立った活動はなかったが、来年度に向けて畑を耕していたようなところがある。来年度、よい展開があることを念じている。

（文責・中村 百合子）